

私の年頭所感

持続可能な明るい未来・夢に向かって



天皇陛下即位宣言 令和元年10月21日NHK TV

新しい時代「令和」の幕が開きました。世界の経済環境は不確実さが増し、日本は本格的な人口減少社会に突入していくという中で、IT・AI・EV等ヨコ文字の並ぶ技術革新・デジタル転換に翻弄されながらも、世界の共通言語となった“SDGs”というスローガンのもとに、持続可能な地球・社会を求めて立ち向かっていかななくてはならないのが、これからの令和の時代に生きる私たちの姿だと考えます。

そうした大変動にもひるむことなく夢を抱きチャレンジし、100年に一度のはずの大災害が明日襲ってきたとしても、公・共・私協力し合って行動してこそ明日の未来は開かれるはずであります。

そうした未来・社会を築くために、行政は、私たち議員はどう行動すべきか、磐田市として今何が最も必要か考えました。その考えましたことを昨年度11月、渡部市長に「志政会提言書」として提出いたしました。小生の考える方向でもありますので要旨を下記に報告させていただきます。

●自然災害への緊急対応

激甚化する自然災害による災害リスクの評価を見直し、この気候変動適応策、市民との災害リスク等の情報共有策、災害弱者対策を推進するとともに、引き続き南海トラフ大地震に備え、海岸防潮堤の早期整備を推進する。

●弱者に寄り添う社会への対応

地域包括ケアシステムの更なる推進、深刻さを増しているひきこもりや虐待等弱者に対して社会とのつながりを実感させる居場所等、社会全体でのサポートのための、「触れ合い、支え合い、助け合い」の体制づくりを深耕する。

●子育て環境の充実

地域の特色を生かし、子育てしやすい環境・施設の整備促進を図るとともに、子育て・教育の人材を確保し運営の充実・安定化を図る。

●次世代産業の育成・農業振興

次世代産業の育成支援や各産業の担い手不足への対応、及び事業承継への更なる対策の促進を図る。農業分野においては、関係機関等と連携をとり経営環境・改善支援を推進する。

●真の多文化共生社会構築のための体制づくり

外国人の増加は著しくピーク時に迫りつつある。外国人にも選ばれる磐田市にすべく、行政・地域・企業が一体感をもち、教育や地域活動の課題に取り組む体制づくりを推進する。

●SDGsの推進対応

SDGsは世界の共通言語の様相に広がっており、17の目標は私たちの暮らしに直結している。地域産業の活性化を促す意義も含まれている。SDGs推進組織を立ち上げ、幅広い分野で企業・大学・関連団体等と連携した活動を推進する。



見付交流センター西側の報徳社より寄付を受けた建物。二宮尊徳像が建っている。ここを、不安を抱える若者たちの居場所に改修して活用することになった。



令和元年11/8～9産業振興フェアにおけるヤマ発自動運転デモ走行。スズキ会長・商工会議所会頭が試乗した。将来の地域交通への期待大。

絹村の新年活動報告会ご案内

皆様への活動報告・思いを聞いていただき、皆様からご意見をお伺いする機会として下記の通り報告会を開催いたします。どうぞお誘い合わせてご都合のつく会場にお越しください。



◆ 令和2年1月25日(土)

10:00～11:30 田原交流センター

13:30～15:00 西貝交流センター

◆ 令和2年1月26日(日)

10:00～11:30 御厨交流センター

13:30～15:00 南御厨交流センター



選手もがんばりました。議員も応援しました。令和元年11月30日市町駅伝磐田市9位